

政策提案書

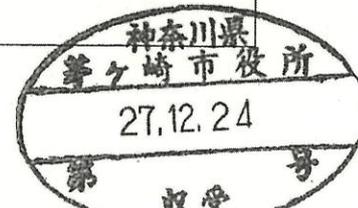
2015年12月16日

茅ヶ崎市長 服部信明 様

住 所  
提案代表者 氏 名  
電話番号

次のとおり政策の案を提案します。

市民の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市内在住 <input type="checkbox"/> 2 市内在勤、市内在学、市内で事業活動等又は市に納税
勤務先、学校名、事業活動等の内容等	
提案する政策の名称	茅ヶ崎市の審議会等の改革のための提案
現状の課題、問題点	<p>現在の審議会等は、様々な課題が多く、総合的な改革が必要との認識が数年前から行政としてもある。今回、企画経営課で各審議会の所管課にまた照会等をかけて、統廃合や改善などの方法を探っている。しかし、現実の審議会の実情を知らないために、改善が提案できない状況にある。</p> <p>また、審議会のあり方についても、審議会の運営方法、審議会の権限、審議会委員の研修、会議録の取り方、情報開示の仕方なども規定がなく、各主管課に任せられており、様々な問題が出ている。そのために審議会の役割が形骸化し、スムーズな審議が行われないなどとし、法律違反となる有識者会議などの二重構造がおきる結果となっている。</p>
提案する政策の内容	<p>このような審議会を改善するためには、現状の審議会を調査し、運営方法、審議内容の必要性、計画等の整合性、委員の選考方法などを具体的に把握する必要があります。しかし、今の行政にはその余裕がないため、市民を臨時調査員（無報酬）として任命し、チェックリストを作成して、現場に出向き現状の把握を行い、それを基に検討会を行政・市民の共同で開催し、改革の内容を検討します。そして、審議会の統廃合及び運営内容の改革及び審議会委員の選考システムなどを提案します。</p> <p>この調査員になれる市民は、審議会委員を実際に経験したことがあり、現在の審議会の課題を認識できる人とする。</p>
予想される効果	<p>① 審議会の根本的なあり方を提示し、形骸化した審議会を市長の諮問機関として有意義なものとする。</p> <p>② 必要がない審議会、それに伴う計画等の整理ができ、行政改革にもなる。</p> <p>③ 市民が自ら学習し、審議会を身近なものにし、多くの市民に行政の施策に関心を持ってもらう場にする事ができる。</p>



必要な費用	
-------	--

- 備考
- 1 本人が自筆で氏名を記入したときは、押印を省略することができます。
  - 2 「市民の区分」欄は、茅ヶ崎市内に在住する場合は、□1にレ印を記入し、茅ヶ崎市外に在住する場合は、茅ヶ崎市内に在勤し、若しくは在学し、市内で事業活動等を行い、又は茅ヶ崎市に納税しているときは□2にレ印を記入してください。
  - 3 「市民の区分」欄の□2にレ印を記入したときは、「勤務先、学校名、事業活動等の内容等」欄に、勤務先、学校名、事業活動等の内容等を具体的に記入してください。
  - 4 「現状の課題、問題点」欄は、問題となっている事項、課題、その背景、考えられる原因等について記入してください。
  - 5 「提案する政策の内容」欄は、できるだけ具体的に記入してください。
  - 6 「必要な費用」欄は、提案する政策を実施するのに必要と見込まれる費用（概算でも可）を記入してください。
  - 7 この用紙に記入しきれないときは、必要に応じて別紙を使用してください。
  - 8 政策提案者署名簿（第3号様式）を添付してください。